

2009年度 国際交流基金地球市民賞 受賞者が決定しました



「国際交流基金地球市民賞」は、1985年以来毎年、地域における国際相互理解の増進に貢献し、地域に根ざした国際文化交流のモデルとして広く参考になる先導的な国際交流活動を行っている団体もしくは個人に対し授与しており、今回が25回目の授賞となります。これまでに、理事長特別表彰1団体を含め73の個人および団体が受賞されました。2009年度は、全国から推薦のあった82件の団体・個人の中から、下記の3団体が受賞者として決定いたしました。

授賞式は2月25日(木)午後6時30分より国際交流基金JFICホール[さくら]にて行われ、正賞(賞状)と副賞200万円が贈られます。

2009年度 国際交流基金地球市民賞 受賞者

- 特定非営利活動法人 じねんじょ 自然生クラブ (茨城県つくば市)
代表者：柳瀬 やなせ ゆきこ 幸子 (代表理事) / 柳瀬 敬 (施設長)
- 特定非営利活動法人 浜松 NPO ネットワークセンター (静岡県浜松市)
代表者：井ノ上 美津恵 (代表・代表理事)
- 特定非営利活動法人 グリーンバレー (徳島県神山町)
代表者：大南 おおみなみ 信也 (理事長) ※概要は別添の通り

関連ウェブサイト <http://www.jpf.go.jp/j/about/citizen/09/press.html>

ジャパンファウンデーションは、総合的な国際文化交流事業の実施機関として1972年に設立され、2003年に外務省所管の独立行政法人となりました。文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流の3つの活動を柱として活動しています。

本件につきまして掲載をお願いいたします。取材を歓迎します。

授賞式の取材についても下記にお問い合わせください。

なお、1月22日(金)に筑波研究学園都市記者会、浜松市政記者クラブ、徳島県庁記者クラブにて記者発表を予定しています。

国際交流基金情報センター地球市民賞事務局 (担当：菅野幸子/田島さか恵)
Tel. 03-5369-6075 Fax. 03-5369-6044 E-mail. chikyushimin@jpf.go.jp



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

2009 年度国際交流基金地球市民賞受賞者

■特定非営利活動法人 ^{じねんじょ} 自然生クラブ (茨城県つくば市)

代表者：柳瀬 幸子[ヤセ ユキコ] (代表理事)

柳瀬 敬[ヤセ タカシ] (ディレクター/施設長)

活動内容：筑波山麓を拠点に知的ハンディのある人を含む「組織体」を作って環境保全型農業を営み、その生活から生まれた感性を表現する活動を 1990 年から展開している。リトアニアの「国際知的障がい者演劇祭」(1996 年)への参加をきっかけに国際交流を開始。海外から障がいのあるアーティストを招き、「ディファレント・アーティスト・イン・レジデンス」を開催。またデンマーク、英国、ベルギー、香港などの演劇祭や「越後妻有大地の芸術祭」(新潟、2009 年)で「創作田楽舞い」を上演し現地の人々と交流するなど、豊かな表現活動を通じた国際文化交流を行っている。

※茨城県からは4年ぶり4件目

URL <http://www17.ocn.ne.jp/~jinenjo/>

■特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター (静岡県浜松市)

代表者：井ノ上 美津恵[イノウエ ミヅエ] (代表・代表理事)

活動内容：人口の約4%弱、3万人が外国人という、全国有数の外国人集住都市である浜松市で、1998年より多文化共生事業に取り組む。教育、医療、アートを3つの柱に、様々な団体や人々をつなぐ「ネットワーク」を目指す。対話と相互理解の機会をもたらすものとしての「コミュニティ・アート」の手法を取り入れ、路上演劇祭、大壁画(ミューラル)や映像の制作なども実施。生活や教育支援、社会参加支援や環境・地域の自立のための事業に加え、若者たちと共に、問題の本質を楽しく感覚を通して伝える力を内包しているアートを通し、豊かな表現や対話を生み出している。

※静岡県からは初の受賞 URL <http://www.n-pocket.jp/>

■特定非営利活動法人 グリーンバレー (徳島県神山町)

代表者：大南 信也[オオミナ シンヤ] (理事長)

活動内容：過疎化地域が生き残るための解決策を見出そうと、アートを柱に世界と地域をつなぎ、グローバルな地域活性化を図る。海外からアーティストを招く神山アーティスト・イン・レジデンス(KAIR)事業から、中・長期滞在するアーティストへの支援事業、アートの森整備事業、劇場寄井座の再生など多彩な活動を展開。また、過疎化を前向きにとらえ、「創造的過疎」をうたい、将来の人口減を見据え、地域が求める人材を移住者として受け入れている。良いと思ったアイデアはすぐ取り入れて、実行に移す、“Just do it!”がモットー。できない理由よりできる方法を考えて実践に移すなど、フットワーク軽く国際文化交流活動を行っている。

※徳島県からは初の受賞 URL <http://www.in-kamiyama.jp/>

「地球を、開けよう。」

情報センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
Tel:03-5369-6075 Fax:03-5369-6044